

科目名	刑法総論B Criminal Law: General B						
科目担当者							
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 基礎専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(3)
授業の概要	責任、未遂、共犯、刑罰について学ぶ。縁遠い他人の個人的出来事のように思える犯罪が、身近で切迫した自分事の社会問題であることを自覚する。						
授業の到達目標	①「犯罪と刑罰」を自分のこととして理解する。 ②感情的な犯罪と刑罰の見方ではなく、刑法の理解に基づく冷静で合理的な判断力を養う。 ③他人事としての犯罪を一方的に非難するのではなく、同じ社会に生きる生の人間の営為として犯罪をとらえる。						
授業計画・内容	1	これからの授業の概括					
	2	被害者の承諾（被害者の許容・委託と犯罪の成立）					
	3	責任論（責任能力、心神喪失、心神耗弱）					
	4	原因において自由な行為（刑法の難解な概念の一つ）					
	5	未遂犯（実行の着手後、結果発生前の犯罪行為）					
	6	実行の着手（犯罪に手を着けた時点はいつか？）					
	7	不能犯（行っても結果が発生せず犯罪にならない行為）					
	8	中止犯（犯罪の実行行為の中止と犯罪成立）					
	9	共犯（2人以上の人が関与する犯罪の形態）					
	10	共同正犯（共犯の中の主犯格）					
	11	教唆犯・幫助犯・従犯（共犯の中での従属的な犯罪関与）					
	12	共犯の諸問題					
	13	刑罰論（刑罰の歴史、憲法の刑罰の規定）					
	14	刑罰論（現行刑法の刑罰の種類、死刑、拘禁刑）					
	15	刑罰論（刑罰は機能しているか）					
授業外学修 (事前学修)	Moodle に授業前に掲載するレジュメを読み考える。考えた上で疑問点・質問をメモする。関連事項をインターネットや他の情報源で調べておく。（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	その回に課題があれば、課題を考えて答える。課題を完成させて次回に提出する。疑問点を調べて考える。（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	課題の提出及び内容 学期末試験					40% 60%	①、② ①、②、③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合 ・課題に答えて提出していること						
教科書	三井誠・瀬川晃・北川佳世子編『入門刑事法 [第 8 版]』（有斐閣）及びレジュメ						
参考文献	その都度案内する						
その他	毎回パソコンを持参してインターネットに接続する。スマートフォンも活用する。						